本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
全国婦人新聞社
〒160 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル
電話 03(3343)1846(代)
FAX 03(3348)1890
振替口座 東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年 5,000円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

アファーマティブ
アクションで
女性の地位向上を!!
全国婦人新聞

日本は加害の責任をとれ！

六カ国から百三十人集う
PKO法に対し危倶の声

強制従軍慰安婦問題アジア連帯会議

日本からは22人が参加
鈴木晶子さんに聞く

八月十、十一日、韓国ソウルで、「強制従軍慰安婦問題アジア連帯会議」が開かれた。韓国、台湾、タイ、香港、フィリピン、日本の六カ国から約百三十人が参加する大集会となった。〝強制従軍慰安婦〟の問題でアジアの女性たちが一堂に集まるのはじめてのことである。日本から「売買春問題ととりくむ会」「従軍慰安婦問題行動ネットワーク」の加盟団体代表を中心に二十二人が参加した。その一人、東京YWCAの鈴木晶子さんに集会の模様を聞いた。

会議はソウル市郊外・水踰（スユリ）洞山にある「アカデミーハウス」で開かれた。この問題に関しての日本からの参加は心重いものだが、開会あいさつで韓国側主催者から「加害者国としての苦しみと、自国の政府と戦う事で二重の苦しみを味わい、参加してくれた」と紹介された。この心づかいには一同心から感謝した。

会のほう頭は元慰安婦盧清子（チョン）、金福童（ボクトン）さんの生々しい証言。金さんは写真撮影を強硬に拒み、事の重さを益々感じた。午後は、韓国挺身隊問題対策協議会の尹貞玉、鄭鎮星、尹美香さんから、慰安婦問題の基本的分析、社会学的分析。歴史と解決のための運動についての発言、夕食後の二時間が日本に与えられた時間で、女性史研究家の鈴木裕子さんが歴史的分析、とりくむ会事務局長の高橋喜久江さん（矯風会）が活動報告、参院議員清水澄子さんが国会報告、弁護士・福島瑞穂さんが強制連行裁判について報告、また在日の立場から、ウリヨソン・ネットワーク、在日韓国民主女性会等が発言した。

二日目は朝からほかの参加国のリポート。台湾は政府が補助をして組織が出て来、聞きとり調査を行いすでに二十数人から証言を得ているという。「ほとんどの人が夫に隠しており、七割の人が子供を産めなかった。子供を産めないというのは中国の家族制度の中では大変なことだ」という。台湾の女性は、補償を自分の権利と思っていない人が多く「はがゆい」と報告された。

タイからは、韓国人の元・慰安婦が国に帰れずそのまま残っている人がいるという現状が伝えられた。

フィリピンの報告は「戦中の日本軍の慰安所には中国人、台湾人、フィリピン人のほかボルネオからつれて来られた人もいた。いま、また〝花嫁〟として日本に送られる女性もいる。問題なのは、近ごろフィリピンの教科書に日本のよいところばかりが出るようになったこと（ジャパンマネーのため？）」。

松井やよりさん（朝日新聞）が、マレーシアの状況を報告。マレー半島は日本軍が太平洋戦争で最初の攻撃をかけたところ（真珠湾攻撃の前）だが、上陸するや、直ちに慰安所を作った。「大虐殺のあったところに慰安所があった事実に注目したい」と指摘。マレーシアでも女性グループが動きつつあるそうだ。

さらに高里鈴代さん（那覇市議）が日本と〝別枠〟で沖縄からの報告をした。あの戦争で、〝皇軍は日本人の生命を守ったかもしれないが、沖縄人の生命は守らなかった〟という。

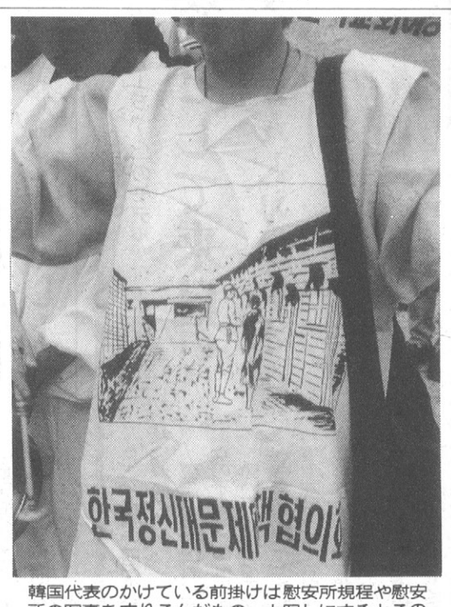
八万人の皇軍のため、沖縄五十四市町村のうち三十一市町村に百十四カ所の慰安所を作った。民家、料亭などが使われた。戦闘の最中でも兵士は慰安婦を抱き、離さなかったという…。

午後は、決議文の草案を討議したが、従来の〈従軍慰安婦〉という言葉に抵抗があるという意見が出、上に〈強制〉の文字をいれることで一致した。また協力して情報交換、合同調査を進めることを決め、コーディネーター国として韓国、日本、台湾、フィリピンを選出。慰安婦問題を中心とした〝侵略戦争資料館〟を作る運動を推進することも決定した。これは主に日本に対し求められたことで、自国の〝被害〟を伝える資料館はあっても〝加害〟が伝えられていない実情にアジア諸国の不満は大きい。

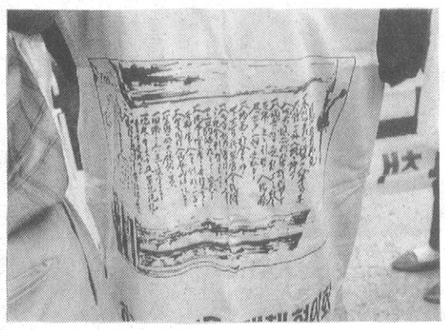
深く考えさせられたのは各国の発言の中で、軌を一にして日本のPKO法について危惧の念が出たこと。〝アジアの日本への厳しい目〟を改めて感じた。

なお、九月十六日夜、国労会館で報告会を行う予定。

連帯会議に出席した日本の代表たちは、十九日総理府外政審議室を訪ずれ、集会の決議文を手渡し、〈日本はアジア各国の真の隣国となるために、過去の歴史を反省し、強制従軍慰安婦問題をはじめとする戦後処理に対する責任ある態度をとるべきである〉という決議の趣旨を実行すべきであると申し入れた。担当者三人が応待したが、「なぜ、強制連行の資料がないなどというのみで、実際に名のりをあげている証人に聞きとり調査もしないのか」「誠意があれば、即刻韓国に調査団を送るべきだ」と二時間にわたる代表団の申し入れに、ただ〝承ります〟と聞くだけだった。



韓国代表のかけている前掛けは慰安所規程や慰安所の写真をすりこんだもの、大写しにするとこの通り（上）、（右）



証言に出た、元強制従軍慰安婦たち

集会後のデモで日韓の代表が肩を組んで

たんぽぽ

「強制従軍慰安婦問題アジア連帯会議」に参加した日本の各団体の代表たちが帰国して新聞を開いたとたん目に入ったのが、PKOでカンボジアに行く自衛隊員に〝エイズ予防のため〟コンドームを支給することを検討しているという記事。あきれはて、大ショックを受けたという。これだけ戦後補償、強制従軍慰安婦の問題が注目をあつめ大きな問題になっているのに、なにを考えているのだろう▼〝国がコンドームを持たせる〟ということは、国が買春を公認しているということにほかならない。近ごろ、エイズの恐ろしさにかこつけて、買春容認のお国がらが露呈されることが多い。例の、パスポートを持った男に〝いってらっしゃい　エイズに気をつけて〟のエイズ予防財団のポスターなど▼女性たちの抗議に、エイズの恐ろしさを知らない、といった見当ちがいの反論もあった。歴史をたぐってみると『軍隊専属の慰安所をつくる』ことを思いついた理由の一つに、兵隊たちを〝性病から守るため〟がある。そのためにも、植民地朝鮮の若い女性たちは、貞操観念の厳格なお国がらもあって、性病の心配がなく〝最適〟だったのだ。▼25日付、毎日新聞「私見・直言」欄で、富山妙子さんが、ロンドンで、富山さんの〈朝鮮人従軍慰安婦にささげるスライド作品「海の記憶」〉を上映したことを書いている。植民地の若い女性を強制的に軍専用の娼婦にしたということはイギリス人にとってショックだったようで質問が相つぐ。基地の近くに業者が売春宿を開くことはあるが……という話から、「もっとも十字軍は専属の娼婦を連れて遠征に行ったそうです」「十字軍…」と富山さんは絶句したという。

海外通信　アメリカ＝③栗原奈名子

メディアに挑む女たち―ニューヨークから

実験的な映像を創作
シュー・リー・チェンさん

ロフトの天井からビデオ・モニターがいくつもぶら下がっている。その画面にはお尻が上下する様子が映っている。（セックスの最中の誰かの臀部のように見える。）その下の台の上には電話が置かれ、コインを入れるスロットがついている。手前の椅子に座って二十五セント硬貨をスロットに入れ、指定の番号を押す。すると、数分の短い映像がスクリーンに映る。例えば、ドレッド・ヘアの黒人の女性がヌードで壁によりかかって手に持ったフィルムを見つめている映像が映り、それに女声によるモノクローグがそれにかぶさる。プログラムは約二十あり、自由に選ぶことができる。いずれのプログラムも、様々な人種に属する女性アーチストによる、セクシュアリティに関するイメージと、異人種間の男女関係を扱うモノローグからなっている。イメージはそうでもないが、女性が口にする、あからさまに性的な言葉や正直な告白を言にして、どっきりさせられる。このセックス・ショップまがいのユーモラスなインストレーションで、人種や差別などの問題について人々の心を刺激してきた。

セクシュアリティの問題を探究するインストレーション・"Those Fluttering Objects of Desire"（「欲望のあの作品を創作したのは、アメリカに存在する台湾系中国人、シュー・リー・チェンだ。

彼女は台湾の大学で歴史の勉強をした後、ニューヨーク大学のシネマ・スタディーで映画の研究を行った。しかし、研究だけでは飽き足らず、自ら実験的な映像を精力的に創作し始め、これまでに数々の作品を発表してきた。彼女の作品は実験的ではあるけれども、日本の多くのおたく的な実験ビデオ作家のそれとは異なり、決して現実の世界から遊離せず、常に社会的、政治問題を映像特有の仕方で扱っている。多様な人種が集まるアメリカ社会で、彼女のユーモアと皮肉を盛り込んだ新奇な作品は、人種、性による差別などの問題について人々の心を刺激してきた。

また、チェンは、現在、ニュート・ランド」（仮題）の製作中だ。予算は五十万ドル（約六千三百万円）。その大半を国や地方の公共団体がお金を出す芸術助成団体から受け取った。フィリピン系の作家、ジェシカ・ハガドーンと共同で執筆した脚本で、しゃべる役が五十二もあり、アジア人のコンピューターのハッカーやラテン系のゲリラ、レズビアンのカップルなど、多様な人種、セクシュアリティの人々が登場する。これは、来年春に公開の予定。

映像というメディアを駆使し、映像というメディアそのものを問い直しつつ、現代アメリカ社会を挑発するチェンは、インデペンデント映像作家のコミュニティで最も注目される一人だ。

アメリカ編は筆者の都合で、一時休載します。（編集部）

今春、ソーホーのエギジット・アートで開かれた"Those Fluttering Object of Desire"展。
―― Photo: Lary Lame.

日中の女性科学者が一堂に会して
☆日中国交正常化20周年記念シンポジウム☆

社会的貢献について語り合う
専門分野で女性テーマの初の試み

日本と中国の女性の科学者が一堂に会し、「女性と科学技術」について話し合おうというシンポジウム「日中国交正常化二十周年記念シンポジウム　女性と科学技術―女性科学者の社会的貢献―」（主催・社団法人日中協会、中国科学技術協会）が、八月三十一日から九月二日までの三日間、中国・北京市で開かれる。

同シンポジウムは、日中国交正常化二十周年の記念行事の一環として、中国科学技術協会（中国の科学技術者の全国規模の大衆団体組織。五八年創立。会員一千万人）が計画。（社）日中協会がこの呼びかけを受けて具体化を検討、開催することになったものだ。日中国交正常化二十周年に関連したさまざまな行事が組まれているが、専門分野で女性をテーマにしたものは、このシンポジウムだけだ。

日本側からは、男性ではあるが、向坊隆さん（東京大学名誉教授・元同大総長、社・日中協会会長）を団長に、猿橋勝子さん（元日本学術会議会員、元気象庁気象研究所地球化学研究部長）、中根千枝さん（東京大学名誉教授　社・日中協会副会長）が副団長、赤松良子さん（財・女性職業財団会長、国連女子差別撤廃委員会委員　前ウルグアイ大使）、山東昭子さん（前国務大臣科学技術庁長官、同庁特別顧問）を顧問に、二十五人の団員が参加。

中国側は、朱光亜さん（中国科学技術協会首席）、聶力さん（全国婦女連合会副主席）、胡啓恒さん（中国科学院副院長）ら三十一名の科学者が参加する。

「国際婦人年」「国連婦人の十年」を契機に、各国で女性の地位向上への取り組み、能力の活用が行われているが、まだ十分とは言えない。特に科学技術の分野ではごく少数で、日本では極めて少ないというのが現状だ。

このシンポジウムでは、女性研究者の育成の重要性を認識する一方で、人類社会に果たす科学技術の発達と、自然環境の破壊という相反する問題に対処することが、科学技術の責任であるとの考え方から、人文社会学の分野からの専門家の参加も得、女性科学者の社会的貢献度を高めることの重要性と問題点について意見交換しようというものだ。

分科会は四分科会に分かれ、法律・医学、自然・資源など、女性の地位向上に取り組むために、さまざまな角度からのアプローチを試みていく。

十八日、科学技術庁で行われた記者会見で猿橋さんは「女の会に、なぜ、男の団長が行くのだといわれるが、自然科学者の中の女性は五%、二万人いないと思う。百人中五人しかいないということだから、その九十五人の一人の代表として、ぜひ出てもらいたいのだ。人文社会科学の専門家の参加も得たので、狭い範囲でなく広い立場の討議をしてほしい。今までの行政の企画と違って、画期的なものだと思う」と話し、シンポジウムの成功に向けての意欲を示していた。

8月31日～9月2日の3日間
中国の北京市で開催

記者会見する日本の代表団のメンバー

'92年8・15ジャーナリストと市民の集い

本紙にJCJ特別賞

日本ジャーナリスト会議（JCJ）主催「1992年8・15ジャーナリストと市民の集い」は八月十五日午後、東京・お茶の水の日仏会館で行われ、既報の通り「全国婦人新聞」がJCJ特別賞を受けた。

一時十五分、日仏会館ホールをいっぱいに埋めた入場者を前に、哲学者・久野収氏の講演と質疑。三時から九二年度JCJ賞贈呈式にうつり、選考委員を代表して新井直之創価大教授から経過発表があり、贈呈式が行われた。

全国婦人新聞が贈られた特別賞は、長く続けてきた活動に対し贈られるもの。〈「平和と平等」をスローガンとするジャーナリズムを貫き、女性問題はもちろん、戦争補償、売買春、従軍慰安婦などの問題を、時には一般紙より早くとりあげて優れた意見を掲載してきた〉ことが評価された。

なお、今年の受賞は★JCJ賞▽メディア連携企画「女たちの太平洋戦争」（朝日新聞大阪本社企画報道室、朝日新聞社出版局、朝日放送）★奨励賞▽「現代史スクープドキュメント731細菌戦部隊（NHK文化番組プロダクション）▽MBSナウスペシャル「フィルムは証言する―南京大虐殺から半世紀」（毎日放送）

高い評価受けた紙面

ヒガシマル

「おいしい」って言わせたいなら…　東　おいしい色のうすくちヒガシマル

＊醸造元　兵庫県龍野市　ヒガシマル醤油株式会社

「ベトナム友好村」建設計画が進められている！

五ヵ国の民間協力で 日本は一億円募金予定

発起人はアメリカの帰還兵・マイリーさん

真の平和と支援を！

絶対に戦争は許せない！ベトナムの話題二つ

募金に協力しよう

石から呼びかけ人の油井、市川、早乙女、沢田さん。続いて大石会長、小島清文同会理事長

英・仏・独・日・米五カ国、七隻の米軍艦に搭載し、砲撃に使用されていた拡散型枯葉剤が、戦場ベトナム国内に放棄され、その残留物質が、ベトナム政府関係者に深刻な影響を及ぼしている。

ベトナム政府関係者は、枯葉剤の被害を受けた地域に「ベトナム友好村」建設計画を進めており、日本側窓口を担当している「ベトナム友好村」建設計画の発起人は、アメリカ帰還兵・マイリーさんと、ジョーン・マイリーさんの夫妻。彼は、ベトナム戦争に従軍し、枯葉剤を散布した経験があるという。

マイリーさんは、自分の中、日本が「九四年から四五年まで、北爆、続いて南部インドシナを占領し、ベトナム人を虐殺した。ベトナム政府関係者は、友好村建設を民間主体で進めさせ、会長にジョーン・マイリーさんを選任した。

ベトナム政府関係者は、「戦争は、基地建設、農業、医療、教育、文化、福祉、環境保護を含む総合的な問題であり、ベトナム友好村建設日本委員会は、ベトナム友好村建設日本委員会に対して、援助を求めている。

「村」の名称は、「戦争による被害者を支援する意味合いを込めて、『村』の名称にした。ベトナム政府関係者は、

望まれる効果的な情報提供

誇大・虚偽広告を批判

主婦連調査　政府広報に厳しい目

主婦連合会（中村紀伊会長、以下主婦連と略）では、「広告に対する消費者の意識調査」を行い、その調査結果をこのほどまとめた。同調査は、主婦連が経済企画庁の委託を受け実施したもので、八府県と首都圏に住む主婦千人を対象に、広告全般に対する意見、子供と広告、リコール広告、比較広告、クーポン広告、政府広告報など十三項目について聞き、広告についての苦情や、意見を自由に書いてもらっている。

この調査によると、広告全般については、広告が「情報効果や生活への話題などを提供してくれる」と評価する一方で、「虚偽・誇大広告の経験がある」「広告料が多すぎる」「役に立った広告がない」という意見が多くあり、正確な情報提供をするシステムの整備など、正しい内容を伝達する配慮の必要性、省資源、ゆとりある暮らしといった観点からの広告のより効果的な提供が望まれていることが明らかになった。

広告全般の項目を見ると「新製品や商品知識を知らせる」と情報提供効果があるとしている人が四〇・三％いるが、「広告費がかかるので商品価格が上がる」と答えた人も、二三・五％いる。

日頃参考にしている広告は、「折り込みチラシ」（二一・八％）、「テレビ」（二九・一％）、「カタログ」（一七・六％）の順。「食品」などは折り込みチラシ、「飲料」や「薬」「菓子」などはテレビ、「自動車」「家電・AV」はカタログを参考にしている人が多い。

「虚偽・誇大広告について」は、それらしいものを「見たことがある」人が三〇・五％。その第一位が不動産広告（四十件）、次いで、「洗剤」「化粧品」「美容・エステ」「薬」など。その広告によって、実際に被害を受けた人は、一〇・七％いて、「期待はずれ」（洗剤、薬、化粧品など）「粗悪品」（教材、ソファー、指輪、衣料品など）というのが主な内容。

「リコール社告」は、「見たことがある」人が六八・七％と関心は高いが、対象品が自宅にあった人は一一・一％と意外に少なかった。このうち、購入店やメーカーに連絡した人は六八・〇％いたが、なにもしなかった人が八・〇％いた。社告については「もっと目立つように」（四七・九％）、「内容がはっきりわかる表現に」（四三・〇％）という改善を求める意見が多かった。

新しいタイプの広告「比較広告」「クーポン広告」についても聞いている。「比較広告」は、「商品選択に役立つ」という人が三八・五％で、「他社を誹謗するようで好ましくない」とした人は二六・一％だった。

クーポン広告は、六八・〇％と認知度は高いが、利用したことがある人は一二・一％と少なく、「クーポンより値引き広告の方が魅力がある」（三三・五％）、「クーポンに惑わされて不必要なものを買わされることになる」（二八・八％）という否定的な意見が多かった。

国や自治体の「消費関連」広報については「見たことがある」人が七一・六％。媒体は「テレビ」「新聞」「国・自治体の刊行物」で、「役に立った」人は三一・〇％で、「訪問販売関係」「環境関連」「高齢者問題」などの内容が役立ったとしている。広報に関する意見では、自然環境やリサイクル、ゴミ問題、エイズなどについての内容充実を求める声が多く、また圧倒的多数の国民の利益につながることにのみ広告費を使うべきだという意見もあった。

広告の量は、ラジオを除き「多すぎる」という意見が多く、媒体別のトップは「折り込み広告」（八三・三％）だった。

アルコールやタバコのCM広告の制限については「健康への害について同時に知らせれば制限の必要はない」という人が四〇・一％だが、「全面禁止にしたほうがよい」という人も一三・五％おり、「七・四人に一人が全面禁止を求めていることは軽視できない値である」と主婦連ではいっている。

自由な意見は、三四・〇％の人が記入。「評価しない不満の記述が大変多く、「量の多さ」「表現方法」「子どもへの配慮」「虚偽誇大」、「電話による広告の迷惑」など。また、要望事項としては、「正確な情報」の提供や、「消費者自身も広告に惑わされない目を養う」「相談や広告のチェック機関の設置」「行政広報の充実」を求める声があった。

調査結果を発表する役員。中央は中村会長

広告に対する消費者の意識調査

エンジョイスパイス

スパイスよもやま話 ▶81◀

レッドペパーは、コロンブスが、中南米からスペインに持ち帰り、世界中に広まったことは、このシリーズですでに紹介しました。

今回は、なぜこのスパイスが、急速に世界の食文化に浸透したかについて説明します。

レッドペパーを栽培して使う習慣は、一七世紀頃までにヨーロッパ各国に広がりました。

ハンガリーで栽培したものは、辛味のないもので、これを新種としてパプリカと名づけました。その後、スペインやフランスでも、辛くないレッドペパーができましたが、すでに国際貿易上では、辛味のないレッドペパーをパプリカと呼ぶようになっていました。

日本でもフランスで改良された辛くないタイプのピーマンは、日常の料理によく利用されています。この二つのタイプのスパイスは、それぞれの特徴を生かし急速に、世界の食生活に浸透していきました。

まず辛さ感に特徴のあるレッドペパーは、主に熱帯、亜熱帯地域を中心に浸透していきました。これら地域では、すでにペパーやジンジャーなどが使われていましたが、いずれも辛味のほかに特有の芳香も合わせて持っています。時にはこの芳香が、各地域で好まれる料理の香味をだめにしてしまうこともあります。しかし、レッドペパーの最大の特徴は、ほとんど芳香がなく、ただ辛さ感だけを与えることです。日本の山菜うどん料理を例にして説明します。山菜うどんにペパーやジンジャーなどを加えますと、辛味は味わえますがこれらスパイスの芳香も同時に味わうことになります。デリケートな山菜の風味を損ねてしまいますので、山菜の風味を生かし、辛味感を加えたい時には、レッドペパーが最適となるのです。このようにして、レッドペパーは、インド料理やタイ料理、中国料理、メキシコ料理、そして韓国料理のキムチなどに適合し使われるようになったのです。

さて、パプリカやピーマンなどの辛さのないタイプは、温帯や寒い地域を中心に浸透していきました。辛さがないため、多量に使用でき、その上栄養価が高いことが解ったからです。生のピーマンには、ビタミンA源となるβカロチンが、多く含まれていることは有名です。しかも、ピーマン百グラムに対して、パプリカはわずか小さじ三分の二で同等量となります。ハンガリーの科学者、アルバート・ギョルギ博士は、パプリカ中のビタミンCを分類し、パプリカの莢の中に最も多く含まれていることを報告し、また、パプリカから『バイオフラボノイド』を発見して一九三七年ノーベル賞を受賞しています。

（資料提供・ライオン家庭科学研究所／本文・武政三男）

世界の食生活変えた

レッドペパーとパプリカ

とっぱら

ほんとう

「老夫婦が独りになる時」

—都市老人世帯をとりまく問題—山口道宏編

夫婦は、時として五十年以上もの長い時間を共に生きることがある。しかしどんなに仲の良い夫婦でも共に死ぬことはほとんどない。どちらかがとり残される、という事実をしっかりと認識している夫婦が、何組あるだろうか。

「一人は淋しい」といって結婚を勧める人達は、果たして一人とり残された時の淋しさを知っているのだろうか。突然一人にされた時の淋しさは、長い間一人でいることに馴れた淋しさとは比べようもないのではないだろうか。

どんなに仲の良い夫婦でも、いつかは一人になる。その時、どうなるのか、どうするのか。行政は何をしてくれるか。又、行政は何をしなければならないか。

「明日は我が身」と思わせ、「いずれ何とかしなくては」ではなく、「今からではもう遅いのでは」と思わせる内容である。人は長生きをすれば年をとるのだから、読んでソンはない、どころか、長生きをするであろうと思われる人は、ぜひ、読むべき本であると、思われる。

（三省堂　千六百円）（乙）

「出生率はなぜ下がったか」

—ドイツの場合

E・ベックゲルンスハイム著、香川檀訳

書名の問に対する明快な答は本書の中にもない。なぜなら「母性」は決して自然的なものではないし、産業化と共に始まった近代的自我の個人への指向性の中で家族関係や子供を持つ意味は決定的に変わってきてしまったから。

つまり私たちは見習うべきモデルのない現代に、全く新しい男女関係や親子関係を模索しなければならないわけだ。家族研究や女性学の視点、産む主体である女性の不安や葛藤、期待や願望という視点からの「出生率低下」問題の分析は、女性の社会進出に原因を押しつけたり、年金・保険制度の破綻や国力の低下を憂慮する言説に納得しかねていた私にとってきめ細かくなじみやすい。

また、東西ドイツ統一という世界的ニュースの向こう側で、コール政権がこんなにも保守回帰的な家族政策を取っているなど、ちっとも知らなかった。高年出産に関する考察も興味深いし、様々な点で示唆深い本だ。

（勁草書房　三千九十円）（直）

「桃色の権力」

三井マリ子著

史上最低の投票率をもって参議院選挙が終わった。三年前の参院選で希望が持たれた女性議員の増加は今回はなかった。人口の半分を占める女性が議会でも半数を占めるという当たり前のことが何故日本ではこんなにも遅々として進まないのか。

そんな折、タイムリーな本が出た。バラの花束を抱え笑いあっている中年男女の表紙写真は、女性首相ひきいるノルウェーの閣僚就任式の写真。閣僚の半分が女性だ。日本の全員男、直立不動のモーニング姿のそれとの違いは何だろうか。

ノルウェーでは、各政党が一方の性が四〇％以下になってはならないというクオータ（割当制）をとったため、女性政治家が飛躍的に増えたという。女性政治家が増えたら、黒一色の政治が、桃のように丸くて甘いものになると著者は言う。都議会からみえてくる日本の政治風景も興味深い。

（三省堂　千六百円）（志）

出かけてみませんか

9月

▼青年劇場第57回講演「キッズだけでいい」

5日(土)、6日(日)前進座劇場▽7日(月)～14日(月)朝日生命ホール▽17日(木)浅草公会堂　昼14時　夜18時30分開演（日にちにより異なるので問合せを）　一般4000円、学生2500円、ハーフチケット（20歳以下）2000円、当日300円増　問合せ…青年劇場☎03・3352・6922

▼ギャラリーレイ3周年記念特別企画「オーストラリア　アボリジニアート展——大地に描く夢絵伝説」

9日(水)～21日(月)11～18時　ギャラリーレイ（港区南青山5－5－20　アルファ8南青山1F☎03・3407・3884）※オーストラリアの先住民族アボリジニは、四万年以上前から狩猟採集生活を営み、大自然との調和の中に生きてきた。彼らには「ドリーミング」と呼ばれる独自の天地創造の言い伝えがあり、伝統的祭りや儀式では、先の物語を砂絵として大地に描く習慣がある。それを、一九七一年ジェフリー・バーデンという白人教師の熱心な指導で厚紙、キャンバス地とアクリル絵具を用いたアートとして芽を吹いた。今やアボリジナルアートと呼ばれ、欧米ではファインアートとして高く評価されている。

今回は大小約三十点のペットイペインティング、木彫クラフトなど。

主催はウエスタン・デザート・アート・オーストラリア（シドニー）。

▼健康管理の栄養食

18日(金)18時　東京YWCA会館2階（JR、地下鉄御茶ノ水駅下車）　前田侑子（『中国菜——前田侑子の料理ノート』著者）　酢豚、なすの干しエビ炊め　4200円（材料費込）申込み…一週間前までに同会館3階受付か電話予約で　主催・申込み…東京YWCA専門学校webスクール☎03・3293・5425

クウェートの巻⑤

おさかな東西南北

握り鮨と自家製焼酎

クウェートでは握り鮨も手軽に食べられた。お米はカリフォルニア米が輸入されていて、味も日本のお米と大差なかったし、ネタには困らなかったからだ。

ネタはタイ類エビ類のほかに、ヒラアジ、シマアジ、カンパチ、ヒラメなど、その日の漁によってさまざまだった。マグロだけはパキスタンからの冷凍物だったが、たまにアラビア湾でも網にかかるらしく、近海物が手に入ることもあった。そういう生のマグロは日本で食べるマグロよりおいしかったように思う。ただし、体長はやや小ぶりだったせいか、トロはめったになかった。

市場では魚は姿のまま売っていたので、はじめのころは大きな魚は、店の人に頼んで、頭を落としてわたも取ってもらっていた。そのうち、おろし方を日本料理店の板前さんに教えてもらい、自分でおろして、お刺し身もつくるようになった。モンゴウイカは身を塩でよくもむと柔らかくなったし、足も同様にもんでからゆでると、おいしかった。

大きな魚をおろせるようになってからは、姿造りや握り鮨、それに自家製焼酎でパーティーをよく開いた。そんなとき、誰もがいった。「ここは本当にクウェートでしょうかねえ」。

イスラム教を国教とするクウェートは禁酒国だ。闇酒がないわけではないが、ジョニ赤で二、三万円と高かった。それで、たいていの人がひそかにワインをつくっていた。

わが家でもワインのほかにビールもつくってみたが、結局、焼酎に落ちついた。自家製焼酎は、小皿にちょっととって火をつけると、炎が二十センチくらい上がるほど強かった。ビターレモンやペリエで割って飲むと口当りがよく、二日酔いにもならなかった。しかし、蒸留するときは一日がかりで、凄い臭いがした。だから、いつ密告されるかわからず、精神衛生上、あまりよくなかったと思う。

（前川雅子）

シマアジ

お魚豆知識

ボケ防止に魚

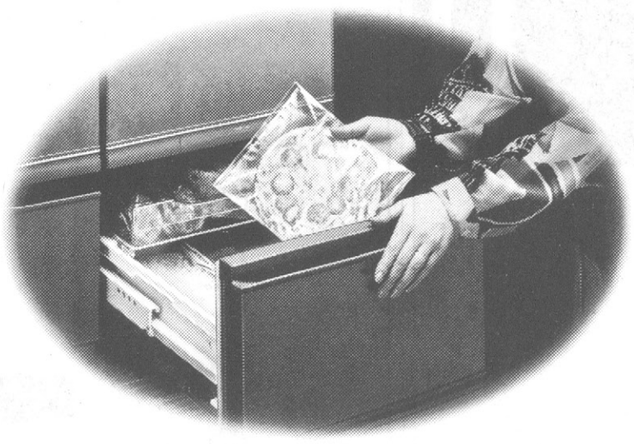
魚の油の中にあるEPA（イコサペンタエン酸）は、血管にたまった血栓をとかす作用があります。だから魚を食べていると、心筋梗塞、脳梗塞の予防効果になります。また、動脈硬化の原因となるコレステロールの排泄を促し、血液の中のコレステロール値を下げる効果もあります。

㈳大日本水産会・おさかな普及協議会

TOSHIBA

エネルギーとエレクトロニクス E&Eの東芝

奥のピザ、とってくれる？



「引き出す冷凍」グラシーオなら、
詰めこんでも、サッと出せます。

引き出す冷凍 GLACIO

腰の高さに上下2段の「引き出す冷凍」

ギッシリ詰めると奥の食品が取り出しにくい、冷凍したものが落ちてくるといった、今までの冷凍室の不満をなくしました。腰の高さで引き出せるから、欲しいものがすぐ見つけられて、出すのも入れるのも簡単。さらに、東芝独自の新冷却方式の採用で、すきまなく詰めても冷えムラがなく、しかもドア式に比べ冷気も逃げにくいという利点があります。だから詰め込んでも、もう大丈夫です。これからますますフリージングしておきたい食品の数は増えるばかり。たっぷり入って、しっかり保存でき、欲しいときにいつでもラクに取り出せる「引き出す冷凍」は、手放せません。

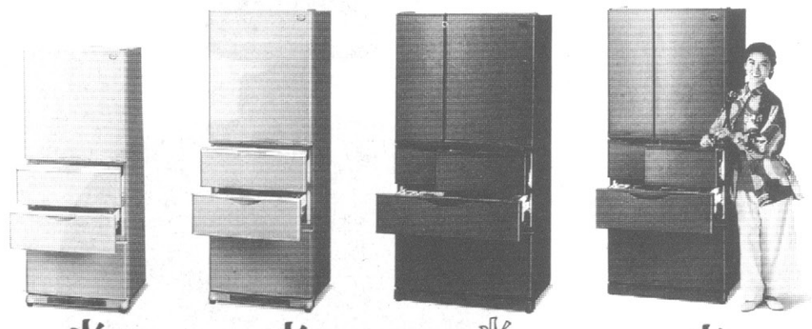
目の高さに大容量、広くて「見やすい冷蔵」

1日に何度も開閉する冷蔵庫を目の高さに。かがまずに、広い庫内のすみずみまで、パッと見渡せます。動きが自然にスムーズにできるから、大きなもの、重いものでも出し入れがラク。奥までよく見えるから、小さな容器でも迷子になることがありません。庫内の整理も、おそうじも、とてもしやすくなりました。

365日、毎日「かってに氷」

浄水フィルター付きで、おいしい氷が自動的にできる「かってに氷」。550ℓタイプは、見た目にも美しい「かってに透明氷」。もう、いつでも手間なくたっぷり氷が使えます。

ニオイstop、プラチナ脱臭装置/静かな25dB、静音設計/強力パワーの一気冷凍/高湿度のいきいき野菜室/おいしさ新鮮、チルドルーム



かってに氷 350ℓ GR-S35LMI 標準価格240,000円(税別) 外形寸法(W/m)幅644×奥行661×高さ1,595

かってに氷 410ℓ GR-S41MI 標準価格270,000円(税別) 外形寸法(W/m)幅644×奥行661×高さ1,800

かってに透明氷 550ℓ GR-A55MIs 標準価格460,000円(税別) 外形寸法(W/m)幅889×奥行620×高さ1,800

かってに氷 450ℓ GR-S45MI 標準価格350,000円(税別) 外形寸法(W/m)幅741×奥行612×高さ1,800

カラーバリエーション/GR-A55MIs：(W)EXメーブルホワイト、(A)EXメーブルアーモンド、(G)EXメーブルグリーン、(C)EXエクシーマブラウン GR-S45MI：(W)マルモホワイト、(H)マルモグレー、(C)マルモアーモンド、(G)マルモグリーン GR-S41MI・GR-S35LMI：(W)シティホワイト、(H)シティグレー、(C)シティアーモンド、(G)シティグリーン

※配送・設置については、別途料金をいただきます。※東芝製品には保証書がついています。お買い求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとりください。
※お問い合わせ・資料のご請求は、〒105 東京都港区芝浦1-2-1シーバンス北館 株式会社 東芝 リビングシステム事業部 冷蔵庫営業部 TEL(03)5484-5365

資料請求券 GR-S45MI用 冷蔵庫A 352-7

使いやすさが大切です。東芝